

福祉用具ご利用者様・ご家族様

だんらん福祉用具貸与販売事業所
管理者 村松 明日美

桃の節句も過ぎて、やわらかな春の日差しがうれしい季節になりましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

「桃の節句」とは、正しくは「上巳(じょうし、じょうみ)の節句」といいます。3月の最初の巳(み)の日を指し、のちに3日に定まってきました。

中国ではこの日に川で身を清め、浮上を払った後に宴を催す習慣がありました。それが平安時代に日本に伝わり、草木、紙や藁で作った素朴な人形に自分の厄災を移し、海や川に流してお祓いをする「流し雛」の習慣となりました。



貴族階級の子どもの間で始まった「ひいな遊び」と言われる人形遊びと「流し雛」が合わさって、「雛祭り」の原型となったと言われています。これが江戸時代に庶民にも伝わり、女の子のお祝いの儀式として定着していったそうです。



「桃」の節句と呼ばれるようになったのは、旧暦の3月3日の頃に桃の花が咲くことや、桃は魔除けの効果を持つとされてきたからだとか。

雛人形を飾り、災いがふりかからないように、また、美しく成長して幸せな人生を送れるようにと、女の子のすこやかな成長を願う行事へと変化してきました。

【桃の節句では、縁起を担いで以下の食材を使用した料理をいただきます】

- はまぐり: 女の子の美德と貞節を意味する
- はす: 穴が開いていることから、見通しのいい人生を意味する
- 海老: 海老の赤は生命を表す
- まめ: 健康でまめに働くことを意味する



海老やまめはちらし寿司に、はまぐりはお吸い物などにさせていただくのが一般的ですね。

ひな人形を飾って、桃の節句のお料理をいただきながら、桃の節句の意味や由来をお子さんに伝えてみてはいかがでしょうか。

だんらん福祉用具
貸与販売事業所
TEL025-530-3657